

きずな -絆-

～がん診療推進室NEWS～

2020年
Vol.10

医療法人 清梁会
発行所 高梁中央病院
発行日 令和2年11月



What's New -新着トピックス-

- ・禁煙に挑戦！「喫煙と新型コロナウイルス感染症」
- ・がんの療養におけるリハビリテーションとは

喫煙と新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症でタバコが重症化のリスク要因と指摘されています。日本禁煙学会は7月4日、喫煙は新型コロナウイルス感染症の悪化をもたらす危険因子であり、喫煙者は生涯非喫煙者よりも新型コロナウイルス感染症の症状悪化の恐れが多いとの研究結果を学会ホームページで報告しています。臨床医と公衆衛生専門家は、喫煙に関するデータ収集を臨床管理に組み込み、禁煙推進を新型コロナウイルスパンデミック対策に加えるべきと強調しています。実際、この機会に禁煙に挑戦する人が増えてきており、「コロナがきっかけで、禁煙を始めようと思った」等の声も聞かれます。

受動喫煙防止条例も全面施行となった今、ご自身とまわりの非喫煙者のためにも、ぜひ禁煙を考えてみてはいかがでしょうか。

がんの療養におけるリハビリテーションとは

当院では、地域がん診療病院としてがんの治療に対し積極的に取り組んでいます。当リハビリテーション科では、がんのリハビリテーション（以下「リハビリ」）も実施しています。今回はがんのリハビリテーションについて紹介いたします。

がんにおけるリハビリとは、患者さんの回復力、残っている能力の維持・向上を促し、今までと変わらない生活を取り戻すことを支援することによって、患者さんの生活の質（QOL：クオリティオブライフ）を大切にする考え方に基ついて行われます。がんは治療に伴う後遺症や副作用などによって、様々な身体的・心理的な障害を受けます。既に欧米では、がん医療の重要な一分野としてリハビリが認められており、がんと診断された直後からあらゆる状況に応じて適切なリハビリが行われています。リハビリのより高い効果を得るためには、何よりも患者さん自身がリハビリの必要性を理解し、障害を抱えても諦めずに、担当医と相談しながらリハビリのサポートを積極的に受けていくことが大切です。

ダイエットとがん予防 意外な共通点



習慣の改善で、がんのリスクは下げられます。



～編集後記～

未だ終息を見せない新型コロナウイルス感染症で、今後の見通しも極めて不透明な状況にあります。当院でも、感染防止の3つの基本である「身体的距離の確保」「マスクの着用」「手洗い」に加え、当院正面玄関でアルコール消毒と体温測定を行っております。それに伴い、入院患者さんへの面会禁止等の措置を取り皆様にはご迷惑をお掛けしておりますが、何卒ご理解ご協力の程宜しくお願いいたします。

◆ 広域地図



◆ 周辺地図



医療法人 清梁会 高梁中央病院
SEIRYO GROUP 見つめているのは命、未来。

〒716-0033 岡山県高梁市南町53番地
TEL:0866-22-3636 (代表)
<http://seiryokai.jp/takahashi/>

患者さま窓口

がん相談支援センター
直通TEL:0866-56-3939
直通FAX:0866-56-3166
E-mail: msw@seiryokai.jp